

湊湯

Minatoyu
(東京都中央区)



外観

このあたりに銭湯はありませんか。思わず、道行く人に聞きそうになってしまった。今回紹介する銭湯・湊湯がなかなか見つからないのである。しかし、湊湯は目の前にあった。これが銭湯？と目を疑うような門構えである。まるで料亭の雰囲気だ。恐る恐る中に入った。

ロビーはシックで落ち着いた雰囲気。フロントには若い主人が座っている。ロビーには新しいマッサージ椅子が1基、休憩場所もある。

脱衣室も同様に落ち着いた雰囲気で清潔感がある。ロッカーは40個あるが、標準的なサイズと大きなサイズの2種類がある。100円硬貨を投入しないと鍵がかからないが、使用後に100円は戻ってくる。

浴室は複雑なレイアウトだ。洗い場が分散して設置されている。入ってすぐ右にあがり湯があるので使ってみたが、適温で心地よい。左には洗い場、奥にも洗い場。洗い場は全部で20か所あったと思う。洗い場の椅子は高く、足が疲れない。また、洗面器は珍しく四角形である。シャワーブースも1箇所ある。

浴槽は5種類。一番手前が円形のジャグジーだ。その奥に大きな浅風呂。浅風呂の両翼にはマッサージ風呂と電気風呂がある。これらの浴槽の湯温は40~42℃。適温だ。浅風呂の横には熱湯がある。湯温は45~46℃を示しており、さすがに熱い。

私のお気に入りのは電気風呂だ。電極に背中を向け、後ずさりをしながら徐々に近づいていき、電流の強度が快適になったところで止まる。腰痛と肩こりが持病の私としてはうれしい限りだ。

マッサージ風呂にはスイッチがついており、スイッチを押せば 2~3 分ほど強烈な水流を受けることができる。こちらも腰痛の肩こりに効く。

サウナは一番奥にあり、中を覗けば 3 段式になっており、9 人がゆったりと座れるようになっている。水風呂はサウナの隣にあり、水温は 19℃である。

浴室の仕上げは石とタイルをふんだんに使い、現代的で落ち着いた雰囲気である。タイルは様々な形状と大きさ、色が使い分けられているが、全体的な統一感は保たれている。この銭湯のキャッチフレーズは「シンプルでスタイリッシュな洗練された安らぎの空間」とのことであるが、決して誇大宣伝ではないようだ。

ちなみに、湊湯では浴室を日曜日に男女入れ替えすることになっているという。今回取材できなかったもう一方の浴室は、黒い石をメインにした仕上げになっているとのことだ。

湊湯は湊にあるから湊湯。では、港と湊は何が違うのか。どうやら、もともと湊と呼んでいたものを、港灣施設として発展した姿が港になったようである。つまり、湊とは近代以前の姿であり、少々古めかしい。フロントの主人に聞いてみれば、湊湯の歴史は 100 年以上。確かに、100 年前は港より湊の方が自然であったのかもしれない。

今日は湿度が非常に低く、すがすがしい天気だ。からっとした空気で、風呂上りの汗も一瞬で消えそう。素晴らしい銭湯日和と言える。湊湯は、そのスタイリッシュな空間で、この銭湯日和を一層盛り立ててくれた。

- **名称**：湊湯
- **所在地**：東京都中央区湊 1-6-2
- **電話**：03-3551-0667
- **営業時間**：15：00~24：30（最終受付 24：00、サウナ最終受付 23：30）
- **定休日**：土曜日
- **入浴料**：大人 450 円、中人（6 歳以上 12 歳未満）180 円、小人（6 歳未満）80 円、サウナ追加料金 400 円
- **サウナ**：あり
- **サウナ内のテレビ**：なし
- **取材日**：2013 年 5 月 23 日（木）
- **取材**：銭湯愛好会・東京支部